

4年に1度のボーイスカウトの祭典



第17回 日本 スカウトジャンボリー



日程●平成30年8月4日(土)～10日(金)
 会場●珠洲市蛸島町「りふれっしゅ村鉢ヶ崎」
 テーマ●冒険～能登のチカラ未来へ～

いよいよ、「日本スカウトジャンボリー」が12年ぶりに珠洲市で開催されます。大会には、国内外から13,000人のボーイスカウトが集結。6泊7日のキャンプ生活を送りながら、手旗信号リレーや火起こし競争など日ごろの訓練を生かしたプログラムや、ライフセービングやフィッシングなど海に面した会場の特色を活かしたプログラムに挑戦します。県民の皆さんも会場見学や一部の体験プログラムに参加できますので、ぜひご来場ください。



県民の方は500円で見学できます！
 (申込不要)

日にち	見学可能時間	主な内容
8月5日(日)	13:00～21:00	開会式(夜間)
8月6日(月)	9:00～16:30	プログラム
8月7日(火)	13:00～21:00	大集会(夜間)
8月8日(水)	9:00～16:30	プログラム
8月9日(木)	9:00～21:00	プログラム、閉会式(夜間)

【入場方法】
 石川県民500円(未就学児無料)
 見学者受付でお支払いください
 ※各日、入場者多数の場合は、入場を制限する場合があります
 ※8月7日は事前申込者のみ入場可能です(事前申込受付終了)
 ※スカウトのキャンプ(生活)エリアへの立ち入りはできません

アクセス

大会会場周辺に駐車スペースがございませんので、「蛸島漁港 見学者駐車場」をご利用ください。15分間隔でシャトルバス(蛸島漁港⇄大会会場)が運行する予定です。



8月4日(土)、10日(金)は、大会参加者の移動日となります。特に、のと里山海道や珠洲道路などは混雑が予想されますので、ご了承ください。

【お問い合わせ】 県教育委員会事務局生涯学習課 日本スカウトジャンボリー開催支援室
 TEL 076(225)1839 詳しくは 石川県 ジャンボリー 検索

手で話そう

手話は、目で見えるろう者の言葉です。

聴覚障害のある人の聞こえ方は、「全く聞こえない人」「難聴で聞こえづらい人」など様々です。聴覚障害のある人の中で、手話を言語としている人を「ろう者(ろう児)」と言います。県立ろう学校では、聴覚障害のある子どもたちが音声と手話を用いて学んでいます。

「石川県手話言語条例」が制定されました。
 (平成30年4月1日施行)
基本施策
 ・県民が手話を学ぶ機会の確保
 ・ろう児等が通う学校における取組の推進
 ・手話通訳者等の育成
 ・手話による情報発信等 など

聴覚障害のある友だちに、私たちができること

聴覚障害のある友だちといっしょに学校生活を送るために!!

- 後ろから話しかけると聞こえないことがあります。正面から話しかけましょう。
- 騒がしい場所や早口での会話は聞き取りにくいので、ゆっくり話しましょう。
- マスクをしていると、話を聞き取れないので、口元をはっきり見せましょう。

聴覚障害のある人とのコミュニケーション方法

- 手話**: 手で表現したり、表情などによって伝えます。
- 補聴器**: 聞こえにくさに合わせて、声や音を大きくします。
- 筆談**: お互いに紙などに文字を書いて伝えます。筆談アプリもあります。
- 要約筆記**: 聞こえない人に、声を文字に変えて、内容を要約して伝えます。
- 手話通訳**: 音声を手話に、手話を音声に変換して通訳します。

簡単な手話をおぼえよう!

手話は、手の形や動き、位置のほかに、顔の表情やしぐさによって、さまざまな意味を表現できる素敵な言語です。

手話 おはよう ありがとう こんにちは すき

手話を学びたいときは！ 石川県聴覚障害者センターまでお問い合わせください
 〒920-0964 金沢市本多町3-1-10(石川県社会福祉会館内) 電話：076-264-8615

平成30年度 第3回ファミリー・カレッジin本多の森 石川県民大学校教養講座 “本多の森で一日留学” 親子で世界をぐ～るぐる

ブラジル、ロシア、韓国出身の県国際交流員が日本語で母国を楽しく紹介します。親子で楽しく外国のことを学んでみよう!

とき 8月17日(金) 13:30～15:00
ところ 石川県立生涯学習センター
対象 小学生と保護者(定員30組)

受講料 無料

「ブラジルの自然」 「ロシアだけにあるもの」 「韓国の料理」



お申込み お問合せ お電話にてお申し込み下さい。 石川県立生涯学習センター 〒920-0935 金沢市石引4-17-1 TEL 076-223-9572